

ソフトボール女子

新リーグで飛躍誓う

2021年4〜11月に行われたソフトボール女子の日本リーグ1部(12チーム)は、上野由岐子投手らを擁するビックカメラ高崎BEEQUEEN(群馬県高崎市)が3連覇した。唯一の異勢である戸田中央総合病院メディックス(戸田市)は8位だった。来春開幕する新リーグ「ジャパン ダイヤモンド ソフトボール リーグ(JDリーグ)」に参加する戸田メディックスに新しく就任した福田五志監督と田中江理奈主将が取材に応じ、飛躍を誓った。

【坂本高志】

メディックスは今季前半、米国のジョーダン・テラー投手の活躍もあって7勝4敗で折り返した。12年の1部昇格後初となる決勝トーナメント進出を目指したが、東京オリンピック後の後半は2勝9敗と失速した。

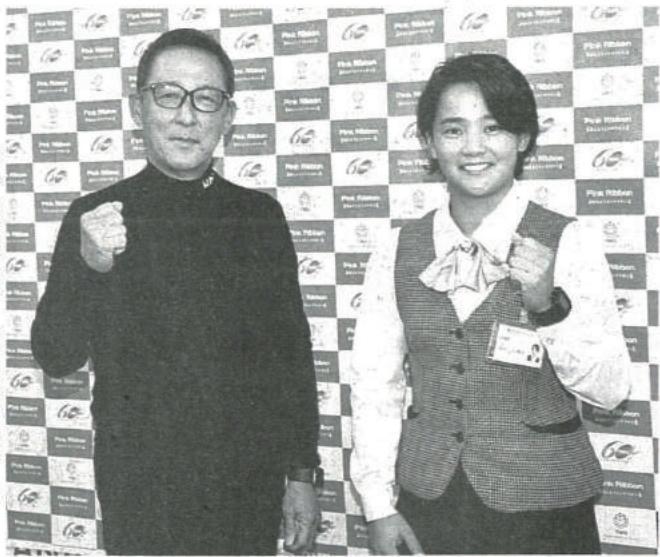
元日本代表監督の福田新監督は今季の戦いぶりを「僅差の試合を多く落としたのが痛かった。投打のバランスが課題」と分析。その上で「新リーグのポストシーズンに残るチームに育てたいし、そのために選手とたくさん会話しながら自分の経験を伝えたい。東京五輪の金メダルで火が付いたソフトボール人気

戸田メディックス 福田・新監督、田中主将

「人気持続させたい」

を新リーグで持続させたい」と抱負を述べた。田中主将は「チームに五輪代表選手はいなかったが、テレビでリーグのライブ選手たちの活躍を見てすごく刺激になった。試合に勝つことはもちろんだが、地域に元気を与えるチームになるため全力を尽くす」と力を込めた。

22年3月28日に開幕



JDリーグでの活躍を誓う福田監督(左)と田中江理奈主将(右)戸田市内で

するJDリーグは「ソフトボールで社会に笑顔を」を理念とし、今季までの日本リーグ1部の12チームに2部の4チームを加えた計16



川口市宮球場でのホームゲーム終了後、スタンドにあいさつする戸田中央総合病院メディックスの選手たち

チームが参加。東西の2地区でレギュラーシーズンの各29試合を実施し、各地区3チームにワイルドカードを加えた7チームで年間王者を決める。メディックスは、ビックカメラ高崎や日立サンディーバ(横浜市)など強豪が多い東地区で戦う。